

千葉大学 アカデミック・リンク・センター／附属図書館 ハイブリッド・サービス・モデル構築プロジェクト

ハイブリッドとは(今回の定義):

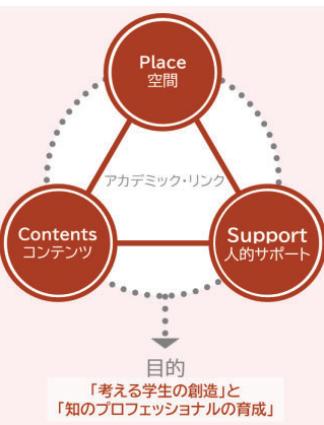
学生が学習環境と学習支援を図書館内でもオンラインでも利用できる環境

## 1.概要説明

### 1.1アカデミック・リンクとは

#### 教育・学習のためのコンセプト

- 生涯学び続ける基礎的な能力と知識活用能力を持つ  
**「考える学生の創造」**→学部学生支援
- 深い専門性と俯瞰的思考力を備えた  
**「知のプロフェッショナルの育成」**→大学院生支援

(参考)アカデミック・リンクとは  
https://alc.chiba-u.jp/entry/concept.html

### 1.2コンセプトの共有方法

#### 全職員参加の館内ワークショップ(WS)を実施

- 第1回 2015年:コンセプトから目標の共有  
「学生ニーズの実務還元を目指して」
- 第2回 2017年:改善の方向性をみんなで考えよう  
「学修空間改善を目指して」
- 第3回 2022年:目標自体をみんなで考えよう  
「ハイブリッド型学習支援・環境整備の検討」**



WSでのグループワーク

### 1.3ハイブリッド型学習検討の背景

- 2022年はコロナ禍を経て対面での授業やサービスが戻ってきた時期
  - 対面とオンラインを併用したサービス提供の方法を模索
- 入学時からハイブリッド型学習環境が前提の学習スタイルに変化
  - 1人1台端末持参、オンライン授業と対面授業の併用

→このような学生の変化に対応した支援を提供するため検討を開始

提供中の  
ハイブリッド型  
学習支援学習相談  
調べもの相談  
PCサポート▶セミナー  
イベント▶学習研究情報提供  
ポータルサイト  
EyeLi/EYRJ!▶

## 2.ハイブリッド型学習支援の検討方法

### 2.1 WSで出た意見の仕分け

支援が必要な学生の全行動をタグ付けし、下記のグループに仕分け

- 空間の利用
- コンテンツ利用
- ハイブリッド型学習支援の利用**
- その他

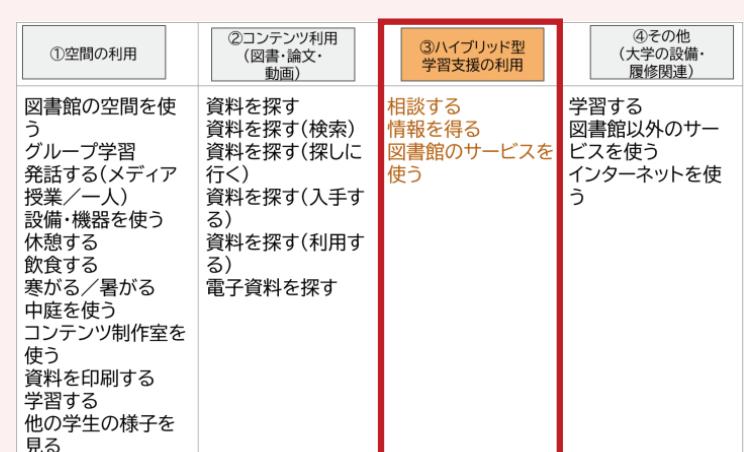


タグ付けの対象データ: WSのデータ + 学生の実態データ※

※全学対象のアンケート調査結果(自由記述部分)や学生へのインタビュー

### 2.1.1仕分けの結果

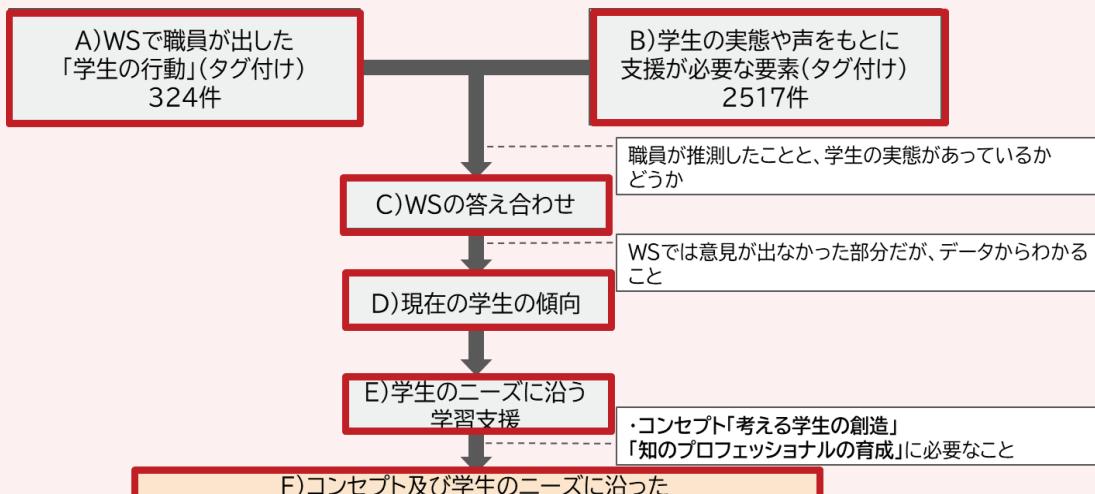
#### ③「ハイブリッド型学習支援の利用」に含まれる行動のタグ



- 相談する
- 情報を得る
- 図書館のサービスを使う

①②④の行動については、他のワーキンググループ等で検討する

### 2.2ハイブリッド型学習支援検討の流れ



## 3.実際の改善事例

### 3.1「相談する」タグが付与された学生の行動を支援するためのサービスの改善事例

F)コンセプト及び学生のニーズに沿ったハイブリッド型学習支援を行うためにどのようにすれば良いか  
・人に相談することのハードルが上がっている可能性があること前提に、相談者にとってより相談がやすい環境を整える。  
・対面とオンラインそれぞれの相談形式の利点を把握し、支援の内容に合わせて適切な相談形式でサービスを提供する。

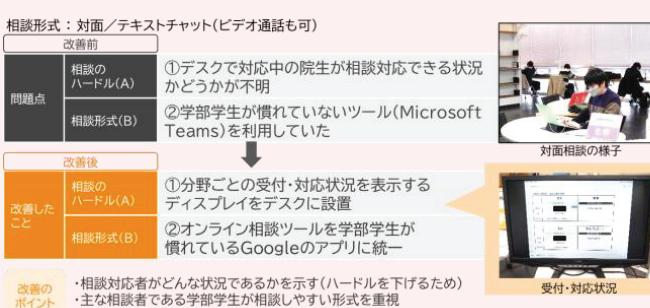
- パターンA  
人に相談することのハードルが上がっている可能性がある  
→相談者にとって相談のハードルが下がるような環境を整える。
- パターンB  
対面とオンラインそれぞれの相談形式の利点を把握する  
→支援の内容に合わせて相談者にとって適切な相談形式や手段でサービスを提供する。

- 2.2の分析結果“F”に基づき、改善の方向性のパターンを見つける
- パターンごとにどのような支援が必要か検討

### 3.2具体的な改善事例

#### 3.1②のパターンを個別のサービスに適用し、改善を検討

##### 例) 大学院生による学習相談



- サービスによって相談できる内容、相談者の属性(学生・教職員等)に違いがある
- 各サービスの特性をふまえて適切な支援の方法を検討

### 3.3他のタグが付与された行動について

#### 「情報を得る」や「図書館のサービスを使う」のタグ(2.1.1参照)を付与した学生の行動に対する支援

→同様に各タグの分析結果と改善の方向性から各サービスの改善を検討実施

ハイブリッド型学習支援改善の方向性(図書館のサービスを使う)

F)コンセプト及び学生のニーズに沿ったハイブリッド型学習支援を行うためにどのようにすれば良いか  
・そもそも図書館のサービスを知らない学生が多いので、サービスを知ってもらえるようにすることが必要  
・図書館のサービスを利用することで、図書館を理解するように、学生自身で必要性を感じて利用する  
・図書館のサービスを利用することで、図書館を理解するように、学生自身で必要性を感じて利用する  
→図書館のサービスを利用することで、図書館を理解するように、学生自身で必要性を感じて利用する

ハイブリッド型学習支援改善の方向性(情報を得る)

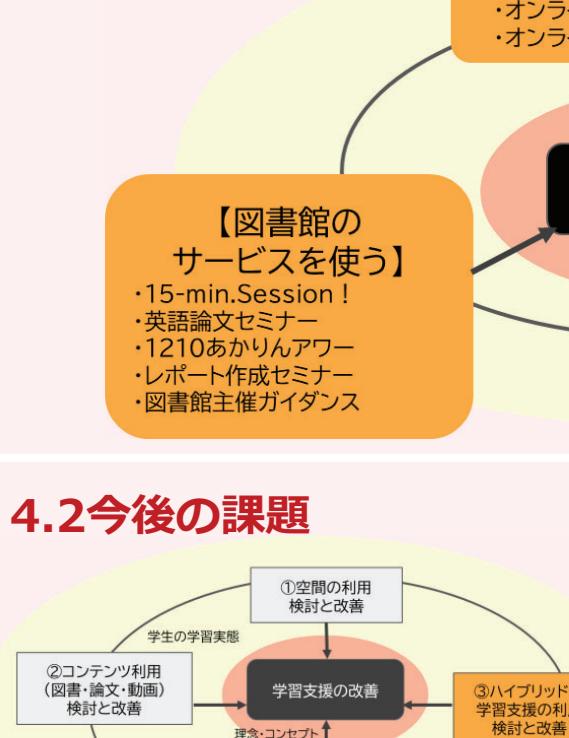
F)コンセプト及び学生のニーズに沿ったハイブリッド型学習支援を行うためにどのようにすれば良いか  
・人に必要な情報は、どこかで手に入るのに、なぜか知らない場合に、図書館の情報を通じて改善が必要である。  
・その情報を取り扱う環境に合った情報を得る機会を提供する(オンライン/物理/人からのおすすめなど)  
→必要な情報を手に入れる手段として、図書館の情報を手に入れる手段として、図書館を利用するF)コンセプト及び学生のニーズに沿ったハイブリッド型学習支援を行うためにどのようにすれば良いか  
・図書館の情報を手に入れる手段として、図書館を利用する  
→図書館の情報を手に入れる手段として、図書館を利用する  
→オンラインで必要な情報を見つけやすい環境を整える。(テキスト/画像/動画など届けたい情報を応じた形式にする。情報をオンラインで提供する)

## 4.まとめと今後の課題

### 4.1ハイブリッド型学習支援全体の改善に必要なこと

- 相談する・情報を得る・図書館のサービスを使うに含まれる学生の行動とそれに対応するサービスはそれぞれ関連しているため
- 全体を意識し、理念やコンセプトに沿った改善が必要
- 実現には課や担当業務を超えた情報共有・意見交換の機会が重要

### 4.2今後の課題



- 今回の検討は支援が必要な学生の行動のうち一部のみを対象とした
- 今後、全体を通しての検討が必要

→総合的に検討することで支援の幅が広がる可能性がある

## 5.我々が大切にしてきたこと

- 自らの活動をWS等で振り返り、学生の動向を調査したうえで、注力すべき方針を検討
- 職員の意見だけで判断せず、当事者の意見(学生インタビューやアンケート結果)も取り入れること
- 知識と経験とあわせて、データに基づき方針を決定してサービスを再設計する意識
- WSのようにコンセプトを共有する機会をもつことで、全員が同じ方向を向き、状況に合わせて機動的に動ける状態の維持